

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
186

発行 2025年6月

令和7年第1回定例会議決結果一覧
議会の動き／主な活動
一般質問ダイジェスト
北部地域の道路網の整備促進並びに
離島架橋早期実現に向けた決起大会／
町村議会常任委員長・副委員長実務研修会
議長のつぶやき
キラリ★いぜなっ子／編集後記

2～3

4

5～10

11

12



旬の花

コスモス

【花言葉】「乙女の真心」「調和」「謙虚」

太陽に向かって
誇らしく咲く
ひまわりの花
遠方に降神島を望む

令和7年 第1回伊是名村議会定例会 結果一覧

令和7年第1回伊是名村議会定例会は、3月12日(水)～18日(火)までの7日間で開催された。
本定例会に提案された議案は26件、うち発議1件です。一般質問には6名の議員が登壇し市政について質問した。結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の内容	審議結果
議案第3号	令和6年度伊是名村一般会計補正予算(第7号)	31,010千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ3,968,076千円とする	原案可決
議案第4号	令和6年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	5,423千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ261,244千円とする	原案可決
議案第5号	令和6年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額の変更はないものとし、歳出科目の金額の組替えのみとする。	原案可決
議案第6号	令和6年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第3号)	19,658千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ481,733千円とする	原案可決
議案第7号	令和6年度伊是名村育英事業特別会計補正予算(第1号)	307千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ8,816千円とする	原案可決
議案第8号	令和7年度伊是名村一般会計予算	令和7年度予算総額 3,870,246千円	原案可決
議案第9号	令和7年度 伊是名村国民健康保険特別会計予算	令和7年度予算総額 240,445千円	原案可決
議案第10号	令和7年度 伊是名村後期高齢者医療特別会計予算	令和7年度予算総額 14,663千円	原案可決
議案第11号	令和7年度 伊是名村港湾整備事業特別会計予算	令和7年度予算総額 11,936千円	原案可決
議案第12号	令和7年度 伊是名村船舶運航事業特別会計予算	令和7年度予算総額 497,856千円	原案可決
議案第13号	令和7年度 伊是名村育英事業特別会計予算	令和7年度予算総額 8,867千円	原案可決
議案第14号	令和7年度 伊是名村簡易水道事業会計予算	(収益的収入及び支出) 簡易水道事業収益 145,067千円 簡易水道事業費用 94,096千円 (資本的収入及び支出) 資本的収入 161,001千円 資本的支出 219,204千円	原案可決
議案第15号	令和7年度 伊是名村農業集落排水事業会計予算	(収益的収入及び支出) 下水道事業収益 69,081千円 下水道事業費用 72,559千円 (資本的収入及び支出) 資本的収入 66,000千円 資本的支出 72,140千円	原案可決
議案第16号	工事請負契約の変更について (伊是名村臨海ふれあい公園体育館改修工事(R6))	工事請負契約金額の変更 元契約に対する変更増額: 36,608,000円 変更契約金額: 438,108,000円 (株)明成建設	原案可決
議案第17号	工事請負契約の変更について (村道南風原線(伊是名区間)道路改良工事(R6))	工事請負契約金額の変更 元契約に対する変更増額: 4,317,500円 変更契約金額: 67,017,500円 (株)高宝建設	原案可決
議案第18号	伊是名村消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例	「非常勤消防団員の報酬等の基準」及び「非常勤消防団員の報酬等の基準に係る留意点について」の一部改正に伴い、消防団員に支給する報酬等の課税関係を明確化するため、条例の一部を改正。	原案可決

議案第19号	伊是名村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	沖縄県人事委員会の給与勧告を踏まえ、給料表の改定、管理職特別勤務手当の支給対象時間の拡大、扶養手当の見直し、通勤手当の支給限度額の引き上げ及び再任用職員への住居手当の支給等を行う必要があるため。	原案可決
議案第20号	伊是名村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	常勤の職員との権衡を考慮し、会計年度任用職員の給与を改定する必要があるため。	原案可決
議案第21号	伊是名村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部が改正されたことを踏まえ、時間外勤務の制限の対象となる職員が養育する子の範囲を3歳未満から小学校就学の始期に達するまでに拡大し、併せて任命権者に、配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員に対する意向確認、介護両立支援制度等に関する研修の実施等を義務づける等の必要があるため。	原案可決
議案第22号	伊是名辺地総合整備計画の策定について	辺地に係る公共的施設の総合整備を行うにあたり、新たに令和7年度から令和11年度までの5年間の総合整備計画を策定する必要があるため。	原案可決
議案第23号	令和6年度伊是名村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	（収益的収入及び支出） 簡易水道事業収益 3,072 千円減額し、合計 149,781 千円とする。 簡易水道事業費用 5,022 千円減額し、合計 112,737 千円とする。 （資本的収入及び支出） 資本的収入 1,100 千円減額し、合計 181,001 千円とする。 資本的支出 1,243 千円追加し、合計 241,474 千円とする。	原案可決
議案第24号	令和6年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算（第4号）	（収益的収入及び支出） 下水道事業収益 6,968 千円減額し、合計 71,342 千円とする。 下水道事業費用 5,749 千円減額し、合計 79,312 千円とする。	原案可決
議案第25号	令和6年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算（第2号）（追認）について	令和6年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算（第2号）については、議会の議決に付すべき案件であったがこれを付してなかったため、議会の追認を求める必要がある。	原案可決
議案第26号	令和6年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算（第3号）（追認）について	令和6年度伊是名村農業集落排水事業会計補正予算（第3号）については、議会の議決に付すべき案件であったがこれを付してなかったため、議会の追認を求める必要がある。	原案可決
議案第27号	伊是名村過疎地域持続的発展計画の変更について	伊是名村過疎地域持続的発展計画において、過疎対策に必要となる計画本文の変更、事業名及び事業費の追加変更をするため。	原案可決
発議第1号	伊是名村議会会議規則の一部を改正する規則	現在の社会状況及び当議会の運営の状況に合わせた所要の改正が必要なため。	原案可決

議会の動き

令和7年3月

- 6日(木) ・議会運営委員会
- 8日(土) ・伊是名中学校卒業式(議長)
- 12日(水) ・第1回定例会(～3月18日(火))
- 18日(火) ・伊是名小学校卒業式

令和7年4月

- 3日(木) ・令和7年度公事清明祭 国指定重要文化財「玉御殿」



- 10日(木) ・伊是名小学校入学式
伊是名中学校入学式
- 15日(火) ・第8回伊是名村モズク拠点産地認定記念グラウンドゴルフ大会
伊是名村臨海ふれあい公園



- 18日(金) ・北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会
名護市民会館
- 30日(水) ・令和7年度沖縄振興拡大会議 自治会館(議長)

令和7年5月

- 8日(木) ・広報委員会
- 9日(金) ・令和7年度北部市町村議会議長会第1回理事会・定例総会 金武町立中央公民館(議長・局長)
- 10日(土) ・第75回沖縄県植樹祭 西部プラザ公園(議長)
- 13日(火) ・町村議会常任委員長・副委員長実務研修会 自治会館
- 15日(木) ・令和7年度伊是名村老人クラブ連合会総会・カラオケ大会 内花区地域活動拠点活性化施設(議長)
- 17日(土) ・伊是名郷友芸能協会 伊是名島ふるさと公演 伊是名村産業支援センター



- 20日(火) ・伊是名村商工会令和7年度第37回通常総会 伊是名村産業支援センター(議長)
- 27日(火) ・令和7年度町村議会議長・副議長研修会 東京国際フォーラム(議長・副議長)
- 29日(木) ・北部広域市町村圏事務組合議会第65回臨時会 北部会館(議長)
- 31日(土) ・第13回伊是名漁協ハッピー

主な活動

議員活動は基本、年4回の定例議会や臨時議会における議案審議や村民の意志を把握する活動を主に行っています。

今回は島内外における役割活動を紹介します。まず村内においては、監査委員1人が議選監査委員として例月現金出納検査、決算監査、定期監査を行っています。島外では沖縄県介護保険広域連合議員1人、沖縄県後期高齢者医療広域連合議員1人、沖縄県北部医療組合議員1人が村から選出され、年2回の定例議会や臨時議会を基本として、4年間の任期で活動しています。

さらに国から委嘱された人権擁護員、保護司をはじめ本部地区交通安全協会伊是名支部長、村福祉生活支援サポートなどボランティアで幅広く活動を行っています。

Q1 架橋建設促進及び観光事業の推進について

Q2 北部病院伊是名診療所の医師住宅の有効活用について



あがり え きよかず
東江 清和 議員

Q1 東江清和議員

伊平屋・伊是名間の架橋建設について、県より「費用便益比（B/C比）」が0.097と極めて低く、国庫補助事業としての採択は困難」との報告を受けました。754億円という巨額の工費と、海底の深さが大きな障壁となっているとのことですが、これまで50年にわたって続けてきた住民の願いが否定されたような形で、大変残念に思います。今後、村としてこの夢の実現にどのような形で取り組んでいくのか、伺います。

A 奥間 守村長

非常に厳しい現実を突きつけられましたが、両村民の長年の悲願であるこの架橋計画を、ここで諦めるわけにはいきません。社会情勢の変化や観光施策の充実による需要の高まりなど、費用便益比を押し上げる要素に注目しつつ、今後も国・県に対して要請活動を継続してまいります。

Q 東江清和議員

過去に実現した伊良部

架橋や古宇利架橋では、B/C比が2を超え、観光や経済に大きな効果をもたらしました。伊平屋・伊是名間でも今後、観光振興などを通じて費用対効果を高めていく必要があると考えます。村として、推進協議会の方針や今後の戦略について伺います。

A 奥間 守村長

推進協議会の今後の議論の中で、単なる通行便益だけでなく、観光や物流、教育、医療への波及効果も含めた総合的な評価を訴えてまいります。現時点ではB/C比が低いですが、社会の動きや両村の取組次第で再評価の余地があると考えています。

Q 東江清和議員

具志川島のリゾート開発が地域活性化や架橋のB/C比向上に資する重要な施策であると考えています。このプロジェクトの進捗状況や、今後の村の関与について伺います。

A 奥間 守村長

具志川島のリゾート開発には、ソネバ社が関心を示しており、村有地を活用した

賃貸方式による開発が進められています。今年度から協議会の設立と地域との勉強会を予定しており、観光を軸とした持続可能な地域づくりに取り組めます。観光振興により、架橋や空港整備の後押しとなるような経済波及を期待しています。

Q2 東江清和議員

北部病院附属伊是名診療所の移転に伴い、老朽化した医師住宅の解体が予定されていますが、住宅不足が深刻な中、移住者や外国人労働者の受け皿として有効活用する余地はないでしょうか。

A 奥間 守村長

医師住宅は築約50年が経過し、旧耐震基準であるため、耐震性や安全面で課題があります。村営住宅としての転用は難しいと判断していますが、住宅不足という村の課題も認識しており、今後県との協議の中で柔軟な対応を検討してまいります。

Q 東江清和議員

外国人労働者の受け入れを希望する企業からも、住宅確保の要望があります。条

例整備などを含めて、既存の医師住宅を再活用する方法はないでしょうか。

A 奥間 守村長

現時点で県との具体的な交渉は行っていないですが、設計段階に入る前に村から提案することも検討可能です。老朽化の問題や制度上の制約を踏まえつつも、移住・定住促進や労働力確保の視点で有効な活用方法を模索してまいります。



医師住宅

Q1 集中豪雨による災害対策の強化を Q2 行政懇談会の公表を Q3 老人ホームチヂン園の存続支援を



伊禮 正徳 議員

Q1 伊禮正徳議員

仲田地区は場南側沈砂池はかなりの土量が搬入され整備当時の現況にない。道路沿いには素掘り排水路があるものの雑草が生い茂り豪雨時には氾濫の危険性があり、近隣の民家に被害を及ぼすことが懸念される。今後の管理体制をどう考えているか伺います。

A 奥間 守村長

ご指摘の沈砂池は、昭和58年から平成6年度における団体営土地改良総合整備事業により整備されている。現在土砂の搬入により雑草雑木が繁殖し、排水不良が懸念される状況を確認していますので、伐採作業等を早急に進めて参りたいと考えています。

Q 伊禮正徳議員

沈砂池として機能を果たすフトン籠の設置など効果を発揮していたが、途中から土量が運搬され、現状には見えない。どういう成り行があったのか。

A 神田宗秀農林水産課長

理由として沈砂池によって周辺家屋の井戸水に濁り等があつて、その解消をし

てほしいと、池に水を留めることはせずに、そのまま流してほしいということで土砂を搬入して埋め立てているというのを聞き取りの中で伺いました。

Q 伊禮正徳議員

ここは沈砂池として戻すのか、あつさり埋めたらどうですか。伐採作業前に区と近隣住民の要望に対して繋がるよう意見交換の場を持つてもらいたいです。

A 神田宗秀農林水産課長

集落の方、区長はじめ声かけして今後どういうふうにやっていくのがベストか、話し合いの中で決めて調整できる部分は図って行きたいと思っています。

Q2 伊禮正徳議員

令和6年度の行政懇談会は、各区民からそれぞれ質問、意見要望等が数多く掲げられたと思います。その各区民の声を全村民共有のため、広報等で公表する考えはないか伺います。

A 奥間 守村長

公表の仕方も検討事項となっていましたので次年度か

ら開催する行政懇談会は、開催内容を「広報いぜん」で公表してまいりたいと思います。

Q3 伊禮正徳議員

全国的に介護サービス施設は、主に介護職の人材不足等で倒産や閉園に追い込まれる等厳しい状況にある。村内の特別養護老人ホームチヂン園においても同様で人材不足や赤字運営が続き、数年先は事業継続が危ぶまれる事態に直面していることで、村及び議会宛に支援を求める要望書が提出されている。施設が安定した運営が出来るよう支援を検討出来ないか伺います。

A 奥間 守村長

チヂン園は開園から30年以上経過し、施設の老朽化による維持経費等が運営を財政的に圧迫し大変厳しい運営状況との説明を受け、村へ支援要望が提出されています。住み慣れた地域で最後まで暮らし続けられるよう高齢者福祉サービス充実のため、村財政状況を踏まえながら、可能な限り支援をしていきたいと考えています。

Q 伊禮正徳議員

要望に施設組織の在り方の検討、再編の取り組みを進めてほしいとのことがあります。それは将来チヂン園を村営で直営してほしいとのこと、また社協のもとでチヂン園を運営、位置付けることを検討してほしいと要望されています。その件についてどのようなことを考えているか伺います。

A 奥間 守村長

本場に切羽詰まつて厳しくなつたときは、村として村営にするのか、社会福祉協議会の管轄の中にするか、今後話していかねければと考えています。いずれにしても村が支援していく施設であり、その方向で進めて行きたい。

Q 伊禮正徳議員

チヂン園は短期入所生活介護や地域密着型通所介護他、介護事業に取り組み、島で穏やかに暮らしたいという住民の願いにこたえる、村にはなくてはならない施設だと思っています。

行政の後押し福祉団体、村民共々に考え打開策を見いだしていければと考えます。

Q フェリーの航路を本部町へ戻しては



あがり え もとなり
東江 源也 議員



フェリーいぜん尚円

Q 東江源也議員

本村のフェリーは昭和63年に運天港に航路変更してから37年が経過しましたが、現在、港へのアクセス道路の整備や路線バスの廃止により利便性が低下しており、今後の地域発展に疑問があると考えています。近年は本部港への大型クルーズ船の寄港や北

部に大型テーマパークの開園もあり、沖縄県も「北部の旅客航路本部集約案」を提示していることから、再度、本部港への航路変更について村の見解を問います。

A 奥間 守村長

航路変更には過去に国・県を巻き込んで運天港の整備を進めた経緯があります。一方、本部港は交通アクセスが良好で利便性は高いと認識しています。県の集約案の動向を注視しつつ、今後の検討課題として取り組んでまいります。

Q 東江源也議員

現在の名護〜今帰仁間の道路は片道一車線で、通行止めの歴史もあり、本部方面の二車線道路や定期バス運行と比べ利便性に劣ります。村長はどちらがより便利と考えますか。

A 奥間 守村長

現状では本部港の方が交通の利便性は高く、名護・那覇方面への移動も容易です。ただし、過去の整備経緯も踏まえて、簡単に判断でき

ないと考えています。県の離島航路集約の動向を見ながら慎重に判断します。

Q 東江源也議員

船の所要時間について、現在のフェリーが本部港に向かった場合、1時間程度で到着する見込みはあるのか。

A 末吉長吉商工観光課長

本部港までの距離は運天港より9km長く、フェリーが通れるルートを考慮すると片道1時間30分かかると見込まれます。また、燃料費の増加や船員の超勤が発生し、年間で5,700万円以上の費用増が見込まれます。

Q 東江源也議員

瀬底大橋を通過する新ルートなど、技術的な工夫で燃料費や距離の短縮はできると考えます。また、新造船計画も視野にあり、航路の見直しを行う好機と考えます。県の「本部集約案」についての詳細な報告が村にあったかを伺います。

A 末吉長吉商工観光課長

今年1月の県とのWeb会議で、本部港変更時の影

響について村としての見解を求められました。運航距離の延長による経費や精神的負担、運賃改定の必要性などを説明しました。

Q 東江源也議員

県の構想が中長期的であることを踏まえ、村として住民アンケートや行政懇談会を通じて方向性を検討する意向はありますか。

A 奥間 守村長

住民の意見を反映しなければならぬ問題であり、今後の県の動向を見ながら、アンケートなどの手法で村としての方針を整理したいと考えています。

Q 東江源也議員

状況は日々変化しており、今が本部港へ戻る最後の好機かもしれません。的確な判断をお願いしたい。村長の最終的な見解を伺います。

A 奥間 守村長

メリット・デメリットの双方を慎重に検討していく必要があります。県の案の具体化を見極め、適切な時期に判断したいと考えています。

Q1 いぜな尚円王まつりの食券について

Q2 村道南風原線の歩道修繕について



いれい まさたか
伊禮 正隆 議員

Q1 伊禮正隆議員

いぜな尚円王まつりでは、関係者やスタッフに対して食券が配布されているのですが、島内の児童・生徒にもボランティア活動の一環として無料で配布することを検討できないか、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

本件は実行委員会が所管する内容ですが、私が会長を務めていることから見解を述べます。尚円王まつりは限られた予算の中で運営されており、スタッフや出演者に対する食券配布も予算の範囲で行っています。児童・生徒への無償配布については、今後実行委員会でも検討したいと考えています。

Q 伊禮正隆議員

令和6年度は何枚の食券が配布されたのか。また村長自身も食券を受け取ったのか伺います。

A 末吉長吉商工観光課長

配布された食券は248枚で、園児や幼児に対してはかき氷券が70枚配布されました。村長に配布された

かについては、記憶が定かではないため確認が必要です。

Q 伊禮正隆議員

尚円王まつりの食券でアルコール飲料を購入できるのか確認します。

A 末吉長吉商工観光課長

ソフトドリンクや食べ物、アルコールに区別なく使用できる食券となっています。

Q 伊禮正隆議員

村長の判断で児童・生徒へのみ食券を配布することで、平等性を保ち、大人の理解も得られると考えます。全員に配布できないのであれば、せめて児童生徒だけに配布してほしいと要望いたします。

Q2 伊禮正隆議員

村道南風原線の一部において、ガードパイプの劣化や樹木の根によるひび割れ、



南風原線

擁壁の傾きなど危険な状況が確認されています。特に歩道に覆いかぶさるような樹木は歩行者の妨げとなっており、修繕や改善が必要と考えます。村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

村道南風原線は村内の重要な交通動線であり、議員ご指摘の箇所についても状況把握しています。無電柱化整備事業の一環として、歩道部分の施工に合わせて擁壁等の改善を進める予定です。ガードパイプの腐食への対策や樹木の影響による舗装面の損傷についても、早急に対応したいと考えています。

Q 伊禮正隆議員

この区間を村長自身が今月に入って通行したか確認します。

A 奥間 守村長

該当区間は通っていないため、今後確認したいと思います。

Q 伊禮正隆議員

この区間では、数年前から村民がひまわりやコスモスを植えており、多くの村民や観光客が訪れています。現



南風原線

在の歩道の状況では、樹木の枝葉が歩行を妨げており、危険です。樹木を一部撤去し、花を植えるなどして観光客や村民が楽しめる花壇として整備してほしいと考えます。樹木の撤去は可能か伺います。

A 濱里 篤建設環境課長

樹木の撤去については補助制度との兼ね合いもあるため、経緯を調査した上で判断したいと考えています。アスファルトの剥離など明らかに危険な箇所については、優先して対応を進めます。

Q 伊禮正隆議員

村長には現場を実際に見ていただき、花の美しさを感じることで整備の必要性を実感してほしいと思います。ぜひ現場を訪れて、住民の声を直接受け止めていただきたいと思います。

Q1 勢理客農村公園内の鉄製フェンスの劣化について

Q2 勢理客農村公園内の照明灯の設置について



うへはら ちやうりよう
上原 長良 議員

Q1 上原長良議員

勢理客農村公園内に設置されている鉄製フェンスについて、設置から30年以上が経過し腐食が進んでいます。特に台風などの強風時には倒壊の危険性が高まるため、早急な対策が必要と考えます。昨年の行政懇談会でも危険性が指摘されましたが、村としてどのように対応しているのか伺います。

A 奥間 守村長

ご指摘のとおり、行政懇談会においてもフェンスの危険性が報告されており、村としても現地確認の結果、早急な対応が必要であると判断しております。令和7年度予算にて、当該フェンスの撤去および新設を計画しております。公園利用者の安全確保を第一に、整備を進めてまいります。

Q 上原長良議員

改修予定が令和7年度に決まったとのこと、台風による倒壊などの懸念がある中、安全が確保される見通しが立ったことを評価します。ところで、勢理客地区だけで

なく、村内には5つの農村公園があり、それぞれに遊具や設備があります。これらの安全点検はどのように行われているか伺います。

A 諸見美奈子総務課長

村として、各農村公園の定期的な安全点検は実施しておりますが、年に一度、民生委員および主任児童委員が各地域を訪問し、遊具などの状態を確認しています。点検で指摘された事項に関しては、必要に応じて修繕を実施しております。

Q 上原長良議員

地域の方々が管理されているとはいえ、公園は部落行事や子どもの遊び場としても機能しており、安全管理の体制強化が必要です。村としても、今後さらに定期的な点検や補修体制の強化をお願いしたいと思います。

Q 上原長良議員

勢理客農村公園内には現在、照明灯が2基設置されておりますが、公園南側には照明がなく、夜間は非常に暗く危険な状態です。地域の憩いの場として、夜でも安心し

て利用できるよう、公園南側にも照明灯を設置することが望まれます。村の見解を伺います。

A 奥間 守村長

現在、勢理客農村公園には2基の照明灯があり、主にグラウンド内の照明を担っております。農村公園は各地域でグラウンドゴルフ等の世代間交流の場として利用されており、健康増進にも貢献していると認識しております。

照明灯の新設については、他地域からも要望が寄せられており、優先順位をつけながら順次対応してまいりたいと考えております。

Q2 上原長良議員

照明設置の要望が多いことは理解しますが、勢理客公園には以前照明灯が設置されていたと思われるコンクリート柱が残っています。この既存柱を活用すれば、設置費用の軽減も可能と考えられます。費用対効果の面から、ぜひ既存インフラの有効活用を検討いただきたいと思います。また、6月ウナナーなどの行事時には、公園南側が

出店等で利用される場となっており、照明の設置が安全確保と行事の活性化の両面において効果を発揮すると考えます。南側には段差もあるため、照明設置によって転倒などの危険性も軽減されるはずです。以上の点を踏まえ、地域住民が夜間も安心して公園を利用できるよう、公園南側への照明設置を強く要望いたします。



勢理客農村公園

Q1 種苗ボックスの増設

Q2 保育料の無償化

Q3 家族型定住促進住宅

Q4 御殿について



たから 高良 真伊 議員

Q1 高良真伊議員

種苗ボックスが各地に造られ、農家の作業効率の向上につながっていますが、種苗ボックスが一つという箇所もあり、農家の作業効率の低下、不便をきたしています。増設が必要と思うが村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

種苗ボックスの利用時期が、製糖終了前後の3月～6月頃の短期間に集中し、一時的に施設数の不足感があるものと承知しております。高齢化、担い手不足の課題、機械化への推進の観点から整備の必要性もあることから、整備内容の必要数の物量調査を踏まえ、さとうきび生産部会等のご協力も得ながら増設整備に向けて取組んでまいります。

Q2 高良真伊議員

令和6年3月の一般質問でも取り上げました。あれから1年この件につきましては考え続けて参りましたが、やはり保育料の無償化は子育て世帯の負担軽減に大きく寄

与するものとし、必要だと考えます。国頭村では令和6年度より0歳児から2歳児の保育料が完全無償化となりました。本村単独財源で行っている中学校の給食費無償化であります。令和7年度より、県より半額が補助されます。その余剰金を財源に保育料の負担軽減を図ってはと考えるが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

支給認定利用者負担額（保育料）については、近年の対象園児数の減少により新年度においては、180万円程度収入を見込んでいます。保育所を運営するにあたり、年間6,500万円程度支出することから、保育料は大切な収入源となっております。本村の令和7年度予算を編成するにあたり、各課と何度もヒヤリングを重ね精査し、苦慮を重ねながら新年度予算を編成したという経緯もありまして、依然厳しい財政状況を強いられている状況であります。よって、0歳から3歳未満児の保育料無償化について

は、財源の確保が課題となりますので、財政状況を勘案しながら、引き続き、検討事項として考えております。

Q3 高良真伊議員

本村では定住促進住宅が5棟建築され、今後も建築予定と承知しています。これまでの本村定住促進住宅は1K型です。伊江村でも同様に内閣府の「沖縄離島活性化推進事業」を活用し定住促進住宅が建築されましたが、家族世帯へ対応できる2LDKの住宅が12戸です。東村でも同様の定住促進住宅が建築されていますが、子育て世代及びU・Iターン者向けに1K、2LDK、3LDKが集合したアパートタイプもあります。本村も家族型の定住促進住宅及び、村営住宅が必要と思うが、村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

村内では単身者定住促進住宅として、引き続き伊是名地区1号棟、諸見地区1号棟を整備した後に、勢理客地区2号棟、伊是名地区2号棟、諸見地区2号棟を順次整

備していく計画となっております。現在空き家となっております戸数が4戸ございます。村ホームページや防災無線等で入居者の募集を行っておりますが、応募する方がなく現在の状況となっております。計画している単身者用定住促進住宅の整備が完了した段階で、家族型定住促進住宅の整備を検討したいと考えております。

Q4 高良真伊議員

伊是名区にあります、尚円王の姉の家筋、「御殿」を村所有とし、歴史・文化の更なる研究、調査、後世に継承すべき場所だと思うが村長の見解を伺います。

A 奥間 守村長

御殿については、文化財区分のうち、史跡のカテゴリーに該当すると考えられますが、指定に際しては今後の保存・活用について検討を要するため、土地の所有の件も合わせて、有識者を含めた検討委員会等により方針を協議して決定する必要があるものと考えております。

4/18
金

北部地域の道路網の整備促進並びに 離島架橋の早期実現に向けた決起大会

～やんばるはていーち～

令和7年4月18日(金)、名護市民会館中ホールにおいて北部振興会、北部市町村会、名護東道路整備促進期成会主催による北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会が開催され、全議員で参加しました。(全体で388人が参加)

大会では、地域の実情を踏まえた道路整備の予算措置や北部に新たにオープンするテーマパークの整備地域などへの高規格道路の延伸などの要請15項目と伊平屋・伊是名間の離島架橋の整備など、特別要請2項目を採択しました。



決起大会の様子

5/13
火

町村議会常任委員長・副委員長実務研修会

自治会館2階ホールにおいて、町村議会常任委員長・副委員長実務研修会が、講師に元沖縄県町村議会議長会事務局長の石垣安秀氏を迎えて行われ、全議員及び事務局職員で参加しました。

研修会では、議会運営における事例報告とその内容についての詳細な解説が主で、非常に分かりやすく理解が深まった有意義な研修でありました。



研修の様子



議長のつぶやき

伊是名村議会議長の潮平です。村議会というと堅いイメージがあると思いますが、楽しいエピソードやほんわかするお話もあるんですよ！ 議員の奮闘ぶりもお伝えできたらと思います。

野山に咲くサンクバーナやクチナシの花、各家々の庭に咲く花々の香り漂う時節柄、村民のみなさまいかがお過ごしでしょうか。久しぶりの投稿です。

去る5月17日の伊是名郷友芸能協会ふるさと公演。出演者の卓越した技に非常に感銘を受けました。

会場いっぱいに奏でる三線・琴の音色や、見惚れる踊りや島の子どもの三線の演奏など、ミグスイ、ミグスイした公演でありました。議会メンバーでは、幕開けで活躍した東江清和議員、仲田栄い節で地謡を務めた伊禮正徳副議長、議会事務局の仲田広美さんは踊りで出演して会場を盛り上げました。そして議会事務局長は、関係者の食

事作りに奮闘しました。(皆様お疲れ様でした。)

今年の梅雨は九州南部が先に入り、観測史上49年ぶりで沖縄が遅れての梅雨入りとなった。寒冷差の厳しい梅雨の時期になりますので、村民の皆様、くれぐれも風邪などひかぬようお気を付けてください。



仲田栄い節

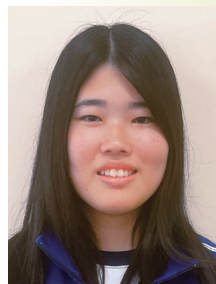
キラリ★いぜなっ子

ザ・学生II

vol.38

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立豊見城高等学校と沖縄県立陽明高等学校に通うお二人です。

豊見城高等学校(3年生)
うえはら なつき
上原 夏希さん
(勢理客)



上原夏希さんは豊見城高校に通う3年生です。先輩が通っていたこともあり、豊見城高校に進学することに決めました。

島を出て一人暮らしを始め、入学当初は不安でホームシックになり、家事も全て一人でやるので親のありがたさを実感しました。勉強との両立は難しいですが、今では料理も慣れ、腕も上がったと笑顔で話してくれました。学校生活も最初は知り合いもいなくて、友達ができるか不安でしたが、勇気を出して声をかけたらとても話しやすくて、友達も

いっぱいできました。

学校では資格取得にも挑戦し、ゴミ拾いのボランティアも友達と取り組みました。授業でもグループワークを通して、コミュニケーション能力が上がりました。学校行事での「とみ高祭」では、放課後に友達と門の飾り付けをやったことが一番の思い出になりました。

卒業後の進路は、親戚の子や友達の弟と一緒に面倒を見るのが好きなので、保育の専門学校に進学を考えています。

島の人たちはみんな顔見知りで、帰ったら色々話しかけてくれて嬉しいのです。島の後輩たちには、最初は知り合いもいなくて友達もできるか不安かもしれないけど、不安がらず自分から積極的に声をかけていけば、友達がいっぱいできると伝えられました。

陽明高等学校(3年生)
なかが ひめあ
名嘉 姫愛さん
(勢理客)



名嘉姫愛さんは陽明高校に通う3年生です。総合学科で自分の将来に合わせて授業が選択ができることが決め手となり、陽明高校に入学しました。

島を出てからの生活は、母との二人暮らしで、学校生活も最初は緊張しましたが、自分から積極的に声をかけ、周りも色々声をかけてくれたので、すぐ仲良くなれました。

バレー部に入り、ポジションはレフトを担当、大会にも出場し積極的に活動しています。学校行事では学園祭で屋台をしました。とにかく自分から話しかけたり、日頃から人と話すことを大事にしています。昨年の体育祭が思い出で楽しかったと笑顔で答えてくれました。

卒業後は保育士を目指し、今後もバレーを続け、島では太鼓もやっているので続けていきたいと考えています。歌うのも得意でイベントに参加し、少しでも誰かに届けたいととても素敵な目標まで教えてくれました。

島への想いを尋ねると、みんな優しく小さい島だからこそ周りに守られていて、いつも助けられていたのでいつか恩返ししたい、いつか島に帰って生活したいと思っています。後輩たちに向けて、受験勉強も今後の生活も大変だと思うけど、楽しいこともいっぱいあるので頑張ってほしいとメッセージを送ってくれました。

◆今期のキビ生産高は前期を上回り、21,949 トンと豊作となった。農家の努力の増産である。魅力ある農産業で農家所得の向上と担い手が増えることが期待されます。

編集後記

◆伊是名郷友芸能協会による、ふるさと公演は華やかに大成功裏となり、村民は久々にフシユフイ（農作業腰休め）の観賞となったのでは。

◆皆様、やがて暑さ厳しい夏到来。くれぐれもご自愛下さい。

広報常任委員 伊禮 正徳